

### タケシールC7M-O3工法 平場部

工 程	使用材料	使用量	方 法	作業間隔
下地処理			下地を洗浄し、十分に乾燥 必要に応じ、ガホンフィルターにて下地調整	
プライマー塗布 1回目	タケシールAE-2117 <sup>®</sup> プライマー	0.15kg/m <sup>2</sup>	タケシールAE-2117 <sup>®</sup> プライマーのA液とB液を1:1 の重量比で混合した塗布液をローラー・ 刷毛で塗布	3時間以上 できるだけ早く
プライマー塗布 2回目	タケシールAE-2117 <sup>®</sup> プライマー	0.15kg/m <sup>2</sup>	タケシールAE-2117 <sup>®</sup> プライマーのA液とB液を1:1 の重量比で混合した塗布液をローラー・ 刷毛で塗布	4時間以上 できるだけ早く
通気緩衝シート 貼り	通気シートEMT-0308AL	1.0~1.1 m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup>	シワがよらないように通気シートEMT-0308AL を貼り付け	直ちに
脱気筒設置	ダモ脱気筒一般用	1箇所/ 30~50m <sup>2</sup>	所定の場所にダモ脱気筒一般用を設置	直ちに
ウレタン防水材 塗布1回目 (目止め)	タケシール#101カラー防水 たれ止め	0.85kg/m <sup>2</sup>	タケシール#101カラー防水のA液とB液を1:1 の重量比で混合し、更にたれ止めを 混合した塗布液をコテ・ヘラ等で塗布	24時間以上 3日以内
ウレタン防水材 塗布2回目	タケシール#101カラー防水	1.3kg/m <sup>2</sup>	タケシール#101カラー防水のA液とB液を1:1 の重量比で混合した塗布液をコテ、ヘラ、 ローラー、刷毛等で塗布	24時間以上 3日以内
ウレタン防水材 塗布3回目	タケシール#101カラー防水	1.3kg/m <sup>2</sup>	タケシール#101カラー防水のA液とB液を1:1 の重量比で混合した塗布液をコテ、ヘラ、 ローラー、刷毛等で塗布	24時間以上 3日以内
トップコート塗布	タケシール#3500トップ <sup>®</sup>	0.15~0.2 kg/m <sup>2</sup>	タケシール#3500トップ <sup>®</sup> のA液とB液を1:1 の重量比で混合した塗布液をローラー・ 刷毛等で塗布	養生時間 7時間以上
設計膜厚		3.0mm		

※作業間隔は気温20℃晴天時の場合のもの

※タケシールAE-2117<sup>®</sup>プライマーに替えて、タケシールNo. 400プライマーを使用してもよい

### 立上り部

立上り部は タケシールC4-O3T工法

